



今年の夏は概ね低水量で左岸堰が少し倒され魚道断流



8月13日の第6堰（甲武橋）僅かに魚道のみ流れる



土砂堆積が進む（5堰下流方向）



日を追って進む土砂堆積（8月22日仁川潜水橋）



武庫川暑かった。風通しの良い木陰は若干涼しく感じる



満々と水を湛えているが流れは無くカワシオグサ繁茂。

8月も降雨量が少なく、概ね渇水状態で経過した。潮止め堰は左岸第1門だけ引き下げられ右岸寄りだけを流れる日が続いた。ハゼ釣りシーズンに入り断流した魚道を渡り堰制御塔の下でハゼ釣りを楽しむオジサンがいた。危ないとは思いますが多分オジサンの背が立つくらいの水深さしかない。それでもあんまりお勧め出来る行為ではない。

流量が少なく、気温・水温とも高めに経過したせいか、水質汚濁傾向が続くためか、カワシオグサが繁茂し川が汚れて見える。10号台風で2堰付近の河床は綺麗に洗われたが甲武橋から上流は台風前と変わらない。

下流区間全般的にいえることだが、土砂堆積が急速に進んでいるように見える。素人目には計画流量流れないのではないかと心配になる。

8月15日夕方から16日明け方に掛けて台風10号が通過したが、武庫川流域には被害はもたらされなかったが、土砂堆積を加速しただけ。何れ仁川合流点の沈下橋も砂に埋もれてしまうのではないかと。一昨年までは鮎の姿が観察出来た流れも無くなり、浅くなった瀬に時々オイカワの群れや、川底に足が届きそうなカルガモが観察出来る程度。